

# フォーカス 包装人



社長の仲長氏

印刷紙器をメインに、設計企画から納品まで一貫してパッケージを提供するナカオサ（千葉県野田市、☎04・7125・3101）が2023年5月、「ちばSDGsパートナー

」に認定された。同社はほかにも19年にFSC・CO2認証を取得している。

また21年にも中小企業庁からBCP（事業継続力強化計画）認定を受けており、

社会問題解決につながる「共通言語」の取得で、企業の責任を果たしていく。社長の仲長孝氏に話を伺った。

品質の共通言語から社会の共通言語へ

以前、同社は製品の品質マネジメント

に関する国際規格「ISO9001」以

下同ISO」を取得していた。1999年、仲長氏が中国を視察した際、多くの企業がISO取得を掲げていたためだ。業界で国際規格が品

のものになったという。仲長氏はすっかり一般化した同ISOと同じく、SDGsやFSC認証、BCP策定も「あって当然」になると考え、

長氏は「県の認定、そして17のゴールを達成すること自体が目的ではない」と語

る。同社が行っていた取り組みや目指すべき形を、共通言語

組みや経験に名前が付いた。従業員との縁が続くよう、多様性を意識しながらコミュニケーションを取ったり、FSC認証を取得したりとい

働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

## ナカオサ ちばSDGsパートナー認定 社会の共通言語で企業責任果たす

質の共通言語になる

と確信し、2002年に取得した。実際に同ISOは顧客との品質に対するすり合わせで役立った。

社会全体に通じる共通言語の取得を進めている。

SDGsで表現できると気持ち、応募した。「激励の会社と無関係ではいられない」、そう感じた。

SDGs自体が目的ではない

SDGsパートナーになって、今まで名前がなかった取り組みが見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

だがその品質も、今や「あって当然」

SDGsパートナー

SDGsパートナー

同社が海外大手企業の包装を請け負った際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

同社が海外大手企業の包装を請け負った際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

同社が海外大手企業の包装を請け負った際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

「認定について、仲

名前がなかった取り

た際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

同社が海外大手企業の包装を請け負った際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

同社が海外大手企業の包装を請け負った際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

同社が海外大手企業の包装を請け負った際に見た、児童労働の有無を強く気にする担当者の姿もその一つだ。国際社会が人権侵害へ注意を払う姿に衝撃を受け、取り組むSDGs目標に目標？「飢餓をゼロに」を掲げた。

「人を大事に」、ナカオサイズム

仲長氏は「いろいろな人の力を借りて会社を運営している」「人を大事にしないと会社は成立しない。自分の気持ちに素直になり、従業員と接することが大切」と、従業員への感謝を強調した。